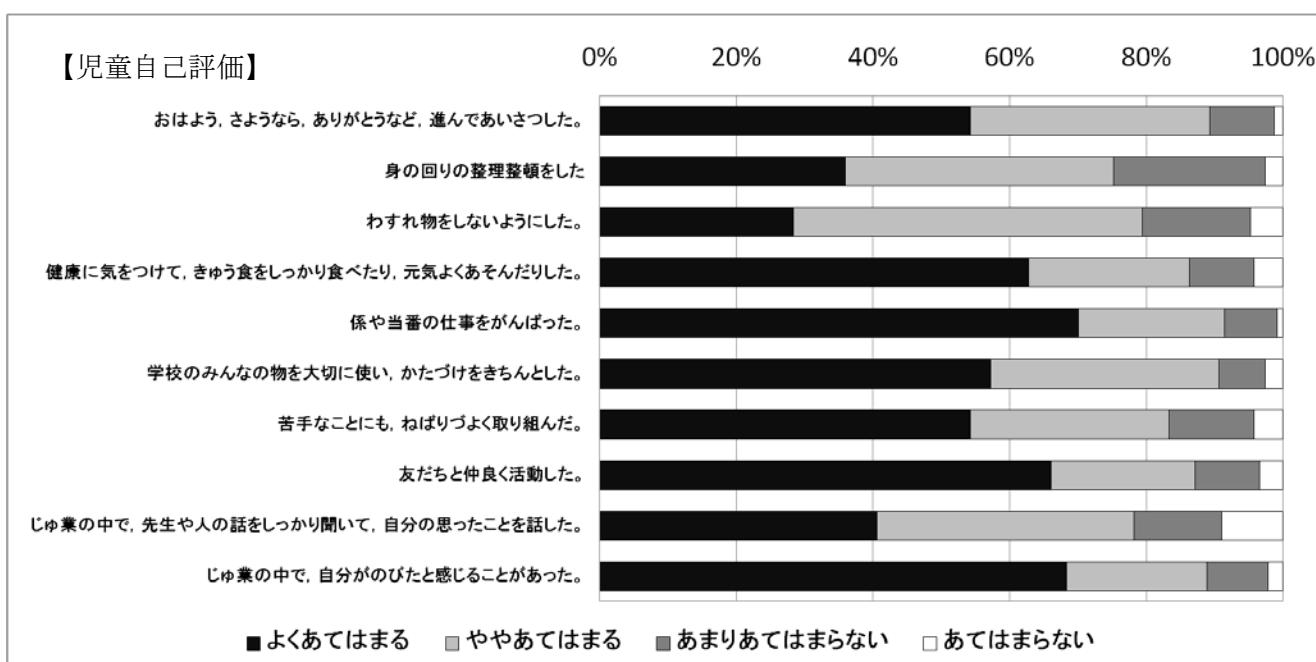
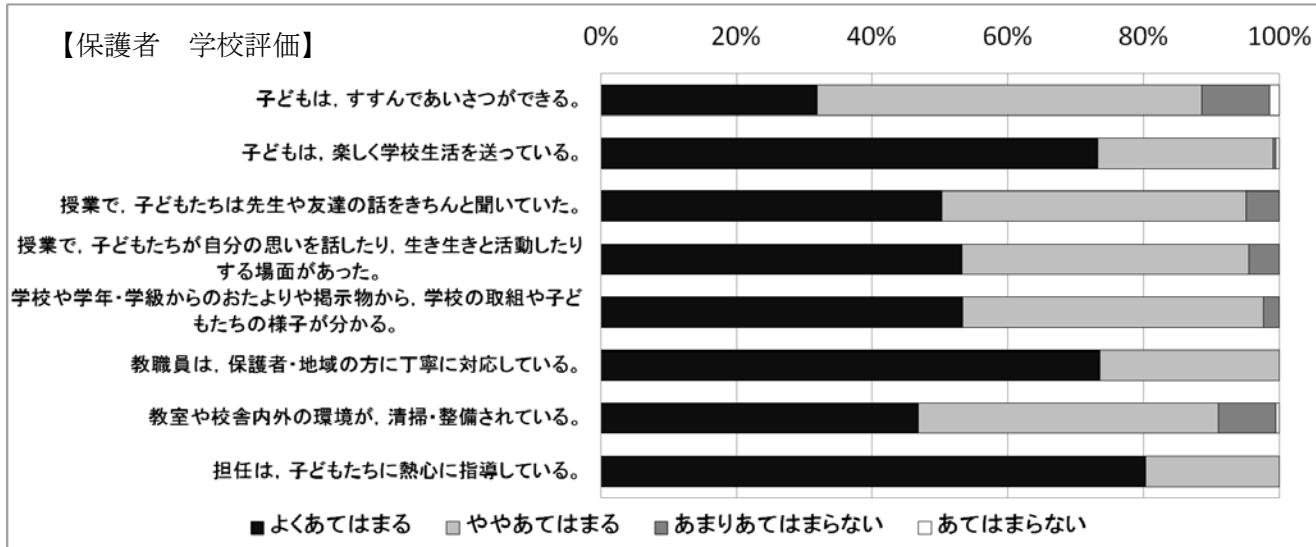


評価アンケートの集計結果のご報告



「進んでいさつをした」の項目でよくあてはまる回答している児童が、半数を超しています。今年度も児童会を中心に朝のいさつ運動が行われています。担当のクラスは、早くから校門に並び登校してくる児童に大きな声で「おはようございます。」とあいさつをしています。登校してくる児童からも大きないさつが返ってきます。職員室に入ると時も、「失礼します。○年○組の○○です。」と低学年からしっかりとあいさつができています。保護者の方からは、「進んでいさつ」でよくあてはまる回答いただけたのが1／4となかなか数字が伸びないのは、学校の中や外で出会った時のいさつがまだまだ不十分だからではないかと思います。今後、児童会を中心に気持ち良いいさつについて考え実行していくたいと思います。

保護者の方から「校舎内外の清掃・整備について」は、昨年度に比べ良い評価をいただきました。これは、児童が「係や当番の仕事をがんばった。」のよくあてはまるが増えていることとも関係があると思われます。掃除時間の音楽と共に、全校児童と教職員が掃除に取り組んでいます。「古い校舎ではありますが、掃除ができていて廊下もピカピカで気持ちがいいですね。」という声もいただいている。人も物も大切にする心を育てていきたいと思います。

保護者の「児童が授業中話をしっかり聞いて、自分の思ったことを話した。」という項目と児童の「授業中、話をしっかり聞いて、自分の思ったことを話した。」は、どちらもよくあてはまるがもう少し増えてくれることを期待したい項目です。「言語活動の充実」として、授業改善や行事の見直しなどを行っています。家庭や地域におきましても、声かけや会話を大切に取り組んでいただいている。紫野小学校の児童の朝会や集会での様子は、年々良くなっています。高学年がよい手本となり活躍しています。「わすれものをしない。」の項目も良くあてはまるが増えました。良い点をさらに伸ばしていくよう取り組んでいきたいと思います。